

令和7年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

<総 括>	1
1 公益目的事業	4
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	4
① 展示場及び会議室等の貸与	4
(2) 地場産業支援事業	6
① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	6
② 人材養成、人材確保推進事業	9
③ 「産業フェアしずおか」開催事業	11
④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業	12
(3) 都市型産業支援事業	13
① 創業に関する相談、創業者間の交流の 推進等創業者に対する総合的支援	13
② 創業者及び中小企業と大学等との連携の推進	16
③ 製品、技術及び事業計画等の展示及び発表会の開催	18
④ 経営に関する相談等総合的な経営支援	19
⑤ 産業及び大学等に関する情報の収集及び提供	21
⑥ 大学等と企業、地域社会等の協力による地域課題の 解決に向けた調査及び研究並びに人材育成	22
⑦ 施設提供事業	23
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	24
① 窓口相談等事業	24
② 専門家派遣事業	25
③ 中小企業経営力強化事業	25
④ 中小企業等経営支援事業	26
⑤ 制度融資関連事務	27
2 収益事業（ツインメッセ静岡）	28
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	28
① 展示場及び会議室等の貸与	28
② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	29
3 公益と収益に共通する事業	30
(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）	30
(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）	31
(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）	32
4 組織づくり・人材づくりへの取組	33
(1) 組織内の人材育成	33
(2) 組織内の内部統制	33
5 理事会・評議員会	34
(1) 理事会	34
(2) 評議員会	35
参考資料	
◇ 展示場の利用状況	36
◇ 会議室の利用状況	39
◇ 年間来場者数	39
◇ 組織構成	40

<総括>

当協会が策定した第2次中期経営計画（2023年度～2026年度）の3年目にあたる本年度は、前年度に引き続き静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）では「ツインメッセ静岡貸館事業」及び「地場産業支援事業」を、静岡市産学交流センターでは「都市型産業支援事業」及び「中小企業支援センター事業」を実施し、一部目標の未達成があったが、概ね計画どおりに実施することができた。

ツインメッセ静岡の貸館事業では、模型・ホビーと親和性のある新分野へのアプローチを積極的に行い、ダーツ大会、カードゲーム大会などのホビー関連催事の開催に成功した。

また、コンサート、自動車展示販売等幅広い分野での催事を多数開催することに成功し、売上目標を達成することができた。

地場産業支援事業では、新商品開発、人材養成をはじめ、展示会出展など販路拡大への支援や静岡市と連携して、「ファクハク」、「プラモデル選手権」等、ものづくり関連イベントへのサポートを行った。

「産業フェアしずおか」では、静岡の産業や製品について、展示・販売・体験など多彩な企画を通じて来場者にふれあいの場を創出し、関心と理解の向上を図った。

また、SNSや動画による情報発信を強化したことで、幅広い層への訴求にもつながった。

都市型産業支援事業では、産学連携事業について本年度からコーディネータを交代し、事業のスタートを切った。

「産学連携コーディネータ相談事業」では、相談件数は、前年度を大きく上回り、センターの産学連携の中核を担う「地域課題に係る産学共同研究委託事業」においても、新たに加わった知見やネットワークを活かした展開を図ることで、今後の活動の進展が期待される。

中小企業支援センター事業では、企業のDX化の進展に伴いECサイトやWEBマーケティング等のIT関連相談が増加傾向にあることから、本年度よりIT相談員を増員し、中小企業診断士及びIT専門家による窓口相談体制の強化を図り対応した。

また、「つながり、高め合い、次なる一步を共に見つける一日」をテーマに、B-nestにて「産学連携」「マーケティング支援」「創業支援」「窓口相談／専門家派遣」で当センターを利用する事業者や大学関係者が一堂に会し、各事業の成果や支援事業から生まれた商品の展示・販売、事例紹介、経営相談や交流機会を提供し、当センターの取組を広く周知した。

第2次中期経営計画の年度計画における実績の主なもの

	令和7年度計画	実績（※評価）	説明等
ツインメッセ静岡貸館事業			
1	南・北大展示場の利用率53%以上	50.1% (○)	目標値には届かなかったが、利用件数、利用日数、利用率とも昨年を上回った。
地場産業支援事業			
2	展覧会及びコンペティションへ2点出品	出品なし (△)	難関課題に挑戦した講座が多かったため、出品レベルに届かなかった。
3	「産業フェアしずおか」来場者、出展者の満足度90%以上	来場者満足度90% 出展者満足度87% (○)	プラモデル、竹千筋細工などの体験コーナーや飲食・物産コーナーが来場者から好評を得た。
都市型産業支援事業			
4	下記3項目の合計数40件以上 新規創業者数 新商品開発数 新分野進出件数	新規創業者数 37件 新商品開発数 7件 新分野進出数 5件 計 49件 (◎)	相談員・コーディネータ等が各自の得意分野を活かし様々な面からサポートした。
5	IT関係の専門家（専門家派遣事業）を確保2名以上	6名確保 (◎)	新規登録専門家数 12名 登録専門家数総計 127名
6	産学連携コーディネータ相談対応件数100件以上 産学官金連携、異業種交流マッチング件数2件以上	198件 (◎) 3件 (◎)	マッチング内訳 ・(株) dozo×静岡県立大学薬学部×(合) DigSence ・中道工業(株)×静岡理科大学×Workauto(株)×静岡県工業技術研究所×静岡県ロボットアドバイザー ・(株) ふたがしら×(株) OTHER-S×クリプトトレード・アルファ(合)×静岡福祉大学

	令和7年度計画	実績（※評価）	説明等
長期的な視点に立った施設の保安全管理			
7	計画修繕の実施	南館地下駐車場泡消火 設備修繕等 13件 (◎)	安全性、利便性の低下を未然に防止し、 施設を安定的に運営するため、緊急性 の高い13件を行った。
財政基盤の強化と健全な財政運営の推進			
8	本財産収入(ツイン メッセ静岡) 4億4,900万円以 上	賃貸料収入 3億9,906万円 駐車場収入 5,365万円 計 4億5,271万円 (◎)	模型・ホビーと親和性のある新分野の イベントをはじめとして、幅広い分野 のイベントの開催に成功した。
組織づくり・人材づくり			
9	研修受講	職員が希望する業務に 直結する研修を受講 (◎)	新しい公益法人制度財務基準の講座 や、商工会議所ビジネススクール主催 のビジネス講座などを受講した。
10	整備が必要な規程 等の確認作業を行 い、整備後順次施行	規程を一部改正し施行 1件 (◎)	当協会が保有する情報資産を適切に 保護するため基準を制定し、情報資産 管理の強化を図った。

※評価の表示

◎＝達成（100%以上） ○＝ほぼ達成（90%以上） △＝未達成（90%未満）

1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

地場産業団体や地元中小企業等が関与する催事並びに国・地方公共団体等が実施する公益目的事業に対し、展示場や会議室の提供を行い、地域産業の活動支援及び経済交流の促進に努めた。

また、経験豊富な職員が催事開催に向けた提案及び運営サポートを実施し、円滑な運営に貢献した。

① 展示場及び会議室等の貸与

本年度は、「静岡ホビーショー」、「FURNITURE AND SKILLS SHIZUOKA」、雛具・雛人形各社によるB to B展示会や、「クリスマスフェスタ」、「TGCしずおか」などのB to Cイベントが開催された。

また、静岡市成人式、確定申告会場、国家試験会場、選挙開票所といった公共性の高い利用もあり、全体として堅調に推移した。

展示場における公益目的の催事件数は207件と、前年度の180件から27件の増加となった。

また、収入額を基に算出した公益目的事業比率は68.5%となった。

【主な展示場利用】 ※地場産業団体、一般企業等の利用

催事名	使用期間
三協立山株式会社 三協アルミ社	4/2～4/7
第63回静岡ホビーショー	5/11～18
FURNITURE AND SKILLS SHIZUOKA	6/4～6/7
静岡優良ツキ板展示大会（第73回・第74回・第75回）	6/17～19、10/28～30 3/3～3/5
しんきんフェア静岡2025	10/21～10/22
ホビーのまちクリスマスフェスタ2025	12/11～12/14
TGCしずおか2026 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/7～11
第46回静岡どてらい市	3/4～8



第63回静岡ホビーショー
県内外から終日多くの来場者があり賑わった。



しんきんフェア静岡2025
327団体が出展し盛大に開催された。

【主な展示場利用】※国、県、市等の利用

催事名	使用期間
参議院議員通常選挙葵区・駿河区開票区開票会場	7/20
令和7年度静岡市内公立高等学校進学相談会	8/18
登録販売者試験（一般用医薬品販売の国家資格試験）	9/2～3
第59回通関士試験	10/4～5
静岡県介護支援専門員実務研修受講試験	10/11～12
2026 静岡市二十歳の記念式典	1/3
SDGs Runway SHIZUOKA 2026	1/9～10
衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査 葵区・駿河区開票区開票会場	2/8
令和7年分 静岡・清水税務署 合同確定申告会場	2/3～3/17



2026 静岡市二十歳の記念式典
静岡市の成人 3440 人が集まった



SDGs Runway SHIZUOKA2026
TGC しずおか2026 と同時開催でSDGs 推進を
PRした。

(2) 地場産業支援事業

ツインメッセ静岡内に設置されている地場産業支援設備や事業実施経験で蓄積したノウハウを活用し、静岡市や地場産業関連団体・施設等との連携を強化することで、地場産業の抱えている商品開発、販路開拓などの課題解決に向けた支援を行い、地場産業の振興に寄与した。

① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援するため、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

本年度は、「新規部門」に5社、「継続部門」に1社の合計6社が参加した。

開発された商品は、令和8年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」で展示・発表をした。

開発商品に対しての興味・関心が多数寄せられ、実用化後の売上が期待できる結果となった。



販路開拓・PR事業と共同で出展した
ギフトショーの様子

◆展示発表会

「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和8年2月4日（水）～6日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト

成果目標	結果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	5件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	37件

※地場産業販路開拓・PR事業と共通の目標

【令和7年度開発商品】



(株) iwakagu
×
K I D



承元寺工業 (株)
×
Green Note



canary104
×
EETY studio



(有) 日本スエーデン
×
KAVO



長澤瓦商店(株)
×
(株)ピットアパット



藤永製作所(株)
×
(株)藤村デザインスタジオ

※上段：参加企業
×
下段：参加デザイナー

<地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し、継続的な支援を行っている。

本年度は、6月の「インテリアライフスタイル」と令和8年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」に出展した。

◆展示会

「インテリアライフスタイル」

- ・期 日 令和7年6月18日（水）～20日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・参加事業者 岸本挽物、杉本家具（株）、大日三協（株）、
ウッドクラフトコバヤシ、
スタンドグラス工房サンクラフツ、
（有）藤原木工、大伸木工（株）



出展社数を過去最大の7社で出展した
インテリアライフスタイル

「東京インターナショナルギフトショー LIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和8年2月4日（水）～6日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・参加事業者 （株）水鳥工業、ウッドクラフトコバヤシ、大日三協（株）、
岸本挽物、大伸木工（株）、杉本家具（株）

成果目標	結果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	5件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	37件

※再掲

<若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人グループ・するがクリエティブへの支援として、「駿府楽市展」のPR、「ホビースクエア展」のサポート等を実施した。

成果目標	結果
展示販売会参加者の満足度90%以上	100%

② 人材養成、人材確保推進事業

<伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に講習会を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。

本年度は竹千筋細工、漆器、木工などの5講座を開講し、延べ37名が受講した。

	開催日数	講師	受講者数	内容
漆器の部	20日	安藤嘉津夫氏	10人	変わり塗り 「金虫食い塗り」
駿河竹千筋細工の部	11日	大村俊一氏	8人	「舟形花器」応用
木工の部	17日	松島富蔵氏	5人	刳物(クリモ)実習
蒔絵の部	18日	鈴木則次氏	9人	平蒔絵加飾
拭漆の部	10日	安藤嘉津夫氏	5人	拭漆実習



「駿河竹千筋細工の部」課題
「舟形花器」からの応用のひとつ



「蒔絵の部」講師の話に
熱心に耳を傾ける受講者の皆さん

成果目標	結果
展覧会及びコンペティションへの出品2点 (経営計画目標)	出品なし 難関課題に挑戦した講座が多かったため、出品レベルに届かなかった。

<静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、地域産業の抱える課題の解決につながるための講演会及び講座の開催、展示会への出展等を実施した。

◆公開講演会

全国や海外で一級建築士として活躍されている、建築家の久保和樹氏を招き、地域材のヒノキの丸太 100 本を無駄なく使い切る「リ・モデルハウス」について講演いただいた。

設計と木取りの繰り返しをして製材することにより、住宅や内装、家具へと余すことなく使う手法を学び、地域材の活用について考える機会とすることができた。

- ・期 日 令和8年1月23日(金)
- ・会 場 ツインメッセ静岡 会議室 409
- ・テーマ 丸太から考える家づくり・家具づくり・暮らしづくり
～川上(森)から川下(暮らし)まで関わる建築家の仕事
丸太・木材・家具・住宅・暮らしまで～
- ・講 師 久保 和樹氏
(H2D0 一級建築士事務所 代表)
- ・参加者 21名

丸太を最大限に活用する
「リ・モデルハウス」の話に耳を傾ける
受講者の皆さん



◆技術プロモーション支援

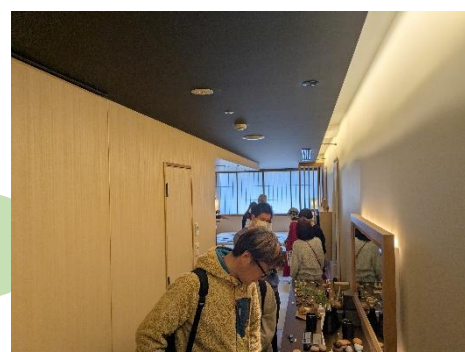
静岡の地場産業の商品・技術をPRするため、令和8年3月にホテルカンラ京都で開催された「Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE」に出展した。

BtoB向けのバイヤーズデイでは関西圏を中心に国内外のバイヤーに向けた商談を行い、BtoC向けのマーケットデイでは感度の高いエンドユーザーへのPR及び販売を実施することができた。

「Kyoto Crafts Exhibition DIALOGUE」

- ・期 日 令和8年3月11日(水)～14日(土)
- ・会 場 ホテルカンラ京都
- ・出展企業 岸本挽物(木工挽物)
日本スエーデン(革製品)

静岡の地場産業の商品・技術をPR



◆ものづくりイベント実施に向けた協業・支援

10月に開催された工場見学イベント「ファクハク 静岡工場博覧会」では、静岡市と連携し、運営支援や広告協賛を実施した。

さらに、11月に開催されたクラフトイベント「共生」においては、同日開催の産業フェアしずおかと連携した広告協賛をおこなった。

また、「全国プラモデル選手権大会」に対しても広告協賛を実施した。



「ファクハク」での工房見学の様子



「ファクハク」でのワークショップの様子

成果目標	結果
講演会の参加者数 30名以上	講演会の参加者 21名
オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施（経営計画目標）	「ファクハク」「共生」「プラモデル選手権」のイベント開催について支援した。

③ 「産業フェアしずおか」開催事業

「MOVE! Shizuoka 買う・見る・食べる 静岡産品ムーブメント!!」をテーマに、静岡の産業・産品を体験できる場を提供し、理解促進と行動喚起を目的として開催した。

地場産業等の展示・PR・販売に加え、「第51回静岡伝統工芸展」の同時開催やプラモデル・竹千筋細工の体験企画の充実により魅力発信を強化したほか、「中部横断道交流物産ストリート」やSNS・動画による広報を通じて賑わい創出と幅広い層への訴求を図った。

- ・期 日 令和7年11月29日（土）・30日（日）
- ・テーマ 「MOVE! Shizuoka 買う・見る・食べる 静岡産品ムーブメント!!」
- ・会 場 ツインメッセ静岡
北館大展示場、南館大展示場 他
- ・出展団体 180団体
- ・入場者数 45,700人



北館大展示場
初めてフェア内で開催した
「第51回静岡伝統工芸展」



プロムナード
中部横断道交流物産ストリートの様子



北館大展示場
地場観光・林業ゾーンの様子



南館大展示場
農業・林業・水産業・企業ゾーンの様子

成果目標	結果
来場者満足度 90%以上（経営計画目標）	90%
出展者満足度 90%以上（経営計画目標）	87%

④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業

応募のあった静岡模型教材協同組合が実施した「第63回静岡ホビーショー 小中高校生招待日」に対して、助成を行った。

(3) 都市型産業支援事業

静岡市産学交流センターの指定管理業務を受託し、次代を担う静岡市を代表する産業を生み出すこと、及び世界、全国に挑戦する中小企業の振興を図ることを目指して、創業支援、マーケティング支援、産学連携など各種事業を実施した。

① 創業に関する相談、創業者間の交流の推進等創業者に対する総合的支援

<創業希望者等に対する経営指導、ビジネスプランのブラッシュアップ等の実施>

創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を実施した。

成果目標	結果
相談件数 200 件	267 件

<創業希望者に対するセミナー、講座、研修等の実施>

創業希望者が抱える課題の解決に実効性のある、各種創業者支援セミナーを開催した。

◆起業スタートアップ塾

創業間もない方、創業に関心のある方に対し、SNSの活用方法に特化したセミナーを開催した。

地元で活躍する起業家をゲスト講師に迎えて意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSについての講義を行った。

- (1) ・期 日 令和7年4月19日
・テーマ 「ビジョンシートであなたの夢を明確にしよう」
・講 師 内田 美紀子氏
・参加者 26名

- (2) ・期 日 令和7年5月24日
・テーマ 「SNSであなたのビジネスファンをつくる／先輩起業家トークセッション」
・講 師 増田 郁理氏
・参加者 19名

参加者は熱心にワークに取り組んだ



◆創業支援セミナー

創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団（中小企業診断士）による創業セミナーを開催した。

マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、当センターと係りの深い創業者を招き、創業前後の体験を語っていただいた。

セミナーは、令和7年6月24日より全6回開催し、特別編では、具体的にテーマを絞り、令和7年10月と11月の2回開催した。

また、国民金融公庫による創業マネー相談会を、5月22日より3回行った。

◆創業後のフォローアップセミナー

創業後5年以内の方を対象に、これまでの事業の振り返りや今後の展開を考えるきっかけづくりのセミナーを実践的な内容で開催した。

- (1) ・期 日 令和7年7月15日、22日（全2回）
・テーマ 「自社商品の海外チャレンジセミナー」
・講 師 静岡県よろず支援コーディネータ 山堀 圭太郎 氏
・参加者 13名

- (2) ・期 日 令和7年11月5日
・テーマ 「また会いたい！と言われる女性経営者に！信頼を築く伝え方」
・講 師 (株) 舎鐘 代表 長谷川 玲子 氏
・参加者 13名

成果目標	結 果
新規創業者数・新商品開発件数・新分野進出件数 40件以上（経営計画目標）	新規創業者数 37件
	新商品開発数 7件
	新分野進出件数 5件
	計 49件

※中小企業支援センター事業 ①窓口相談等事業と共通の目標

＜学生等に対する創業機運の醸成のための講義及びワークショップの実施＞

大学や高等学校等の学生を対象に、「ビジネス実践講座」を実施し、なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得機会を提供し、選択肢としての「創業」や「就業」、「会社の仕組み」等への理解を深めた。



静岡市立高校での授業風景

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡英和学院大学	2回	16名
静岡県立科学技術高等学校	1回	41名
静岡市立高等学校	1回	302名
常葉大学附属橘高等学校	10回	43名
静岡大学	4回	10名
合計（5校）	18回	412名

成果目標	結果
1校につき3回程度で6校程度に派遣	5校に対し延べ18回派遣

② 創業者及び中小企業と大学等との連携の推進

<産学連携コーディネータ相談事業>

大学等が保有する高度な技術、人材、知識などを、中小企業が新製品開発、新事業進出などに活用できるよう橋渡しを行った。また、産学連携を促進するため、積極的に情報収集・提供を行い、大学等と企業との交流・連携事業を実施した。

◆実施内容

事業名	内容	実績
産学連携 コーディネータ相談	企業が抱える問題、課題等への相談	198件
静岡地域産学連携 コーディネータ会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学部、静岡理工科大学、常葉大学、静岡産業大学、静岡福祉大学、静岡英和学院大学、(公財)静岡県産業振興財団、静岡県工業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市経済局産業政策課、(一財)マリンオープンイノベーション機構、ファルマバレーセンター、ウェルネス・フーズ産業支援センター、静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、(一社)静岡ベンチャースタートアップ協会、Shizuoka Innovation Platform (SHIP)との情報交換	全9回
事例セミナー、講演会の開催	・「デザインの思考力を引き出す講演・ワークショップ」12月16日(火)開催(静岡県工業技術研究所及び静岡市清水産業・情報プラザ(静岡商工会議所)と共催)	参加30名
企業及び大学見学会の開催	・大日工業(株) ・静岡県工業技術研究所	参加13名 参加13名

◆産学官金、異業種連携のマッチング事例

【(株) dozo×静岡県立大学薬学部×(同) DigSense】

クラフトティーカクテルキットを手掛ける(株) dozo、薬剤の造粒技術を専門とする静岡県立大学薬学部、AIによる香りの言語化を得意とする大学発スタートアップの(同) DigSense がマッチングした「ティーモクテル開発」プロジェクト

【中道工業(株)×静岡理科大学×Workauto(株)×静岡県工業技術研究所×静岡県ロボットアドバイザー】

建設工事における床の金鋸作業の自動化を検討している中道工業(株)、ロボット工学を専門とする静岡理科大学、自動草刈り機を手掛けるスタートアップのWorkauto(株)、DX化を推進する静岡県工業技術研究所、静岡県ロボットアドバイザーがマッチングした「金鋸作業ロボット開発」プロジェクト

【(株) ふたがしら×(株) OTHER-S×クリプトトレード・アルファ(同)×静岡福祉大学】

訪問介護事業を営んでいる(株) ふたがしら、介護、医療に関する諸課題について教育・研究する静岡福祉大学、DXコンサルティングの(株) OTHER-S、生成AIのサービス開発を手掛けるクリプトトレード・アルファ(同) がマッチングした「AI活用による訪問介護シフト作成支援システム開発」プロジェクト



産学連携コーディネータの起業視察会を通じて
先進技術を研鑽し橋渡しをする

成果目標	結果
相談件数 100 件以上 (経営計画目標)	198 件
産学官連携、異業種連携のマッチング 件数 2 件以上 (経営計画目標)	3 件

③ 製品、技術及び事業計画等の展示及び発表会の開催

<ビジネスプランコンテスト及び伴走型支援の実施>

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として「第24回ビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプラン作成集中講座や応募段階からの相談など、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで一貫した支援体制が特徴となっている。



審査員の前で緊張の面持ちでプレゼンする学生たち



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

◆第24回ビジネスプランコンテスト

- ・募集期間 令和7年9月1日～10月10日
- ・応募件数 90件(うち学生部門55件)

【最終審査会】(令和8年2月19日)

一般部門

最優秀賞：静岡発、次世代鉄道模型プロジェクト

／合同会社日本平精密模型 藤田 祐馬

優秀賞：静岡の農産物と発酵の力であなたの心を整える

／スウィースト(株) 代表取締役 木村 洋子

学生部門

最優秀賞：水捨(みす)てない！超音波で挑む金属加工液腐敗の革新

／静岡理工科大学大学院 材料科学専攻 1年 森島 駿太 他2名

優秀賞：地球を俯瞰し、土砂災害リスクを”見える化”する次世代ソリューション

／静岡大学 農学部 4年 上野 恒晟

成果目標	結果
応募件数50件以上	90件

④ 経営に関する相談等総合的な経営支援

<商品開発プロジェクトの実施>

静岡市の新たな観光資源となり得る、魅力ある商品づくりを目指し、「消費者視点でリニューアル」をプロジェクトテーマに掲げた。商品のリニューアルを通じて、マーケティング勉強会やニーズ調査を重ね、マーケティング視点に基づく商品開発ノウハウの習得と開発力の向上を図った。

◆取組内容

- ・勉強会／9回
- ・個別相談会／9回
- ・消費者モニターによる試食評価会／1回
- ・専門家による試食評価会／1回
- ・成果発表会：令和8年2月27日
場所：静岡市産学交流センター
発表会及び試食会を実施
(参加人数 53人)



戦略シミュレーションでは
白熱した意見が飛び交った

【令和7年度開発商品】

しずおか商品開発プロジェクト/株式会社マルヤス食品

【新開発商品】

縁ってらっしゃい幸せ満杯！
“八百屋の生フルーツゼリー”

しずおか商品開発プロジェクト/有限会社 稲島食品

【新開発商品】

子供の成長を支える栄養豊富マグロプロテイン
“まぐろバー”

しずおか商品開発プロジェクト/Kinaco

【新開発商品】

富士山を贈る、体に優しい和菓子
“富士山浮島”

しずおか商品開発プロジェクト/山梨建設株式会社

【新開発商品】

具材が主役！ ずっしり満足カレー
“グググカレー”

しずおか商品開発プロジェクト/志比志農産物組合

【新開発商品】

桜えび100% 港の味をご自宅で！
浜のかきあげやの桜えびのかきあげ

しずおか商品開発プロジェクト/GARCIA BREWING株式会社

【新開発商品】

ペルーの情熱 静岡のご褒美ビール
CHICHA IPA

◆販売促進関連

- ・「産業フェアしずおか 2025」

開催日：令和7年11月29日（土）・30日（日）

場 所：ツインメッセ静岡

- ・「B-nest 祭」

開催日：令和8年3月13日（金）

場 所：ペガサートビル地下1階

出店者：GARCIABREWING（株）、山梨罐詰（株）、由比港漁業協同組合
（有）星興産、（株）マルヤス青果、Kinaco、Dデザイン（株）



B-nest 祭では開発した
新商品が好評だった。

成 果 目 標	結 果
新商品開発5件以上	6件

⑤ 産業及び大学等に関する情報の収集及び提供

＜ホームページ、機関紙等による情報提供＞

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook、YouTube や広報誌「B-nest FACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を利用者に提供した。

成 果 目 標	結 果
メールマガジン新規登録者数 200 件	83 件

(参考) 令和7年度末メルマガ登録者数 3,045 件

＜6階、7階ラウンジ及び地下通路ショーケースでの情報提供＞

当センターのラウンジや地下通路ショーケースにて、「商品開発プロジェクト」、「産学共同研究委託事業」で新たに開発された製品の展示や、それらに関する情報提供を行った。

また、「産学連携」「マーケティング支援」「創業支援」「窓口相談／専門家派遣」各事業の成果や支援事業から生まれた商品の展示・販売、取組事例の紹介し、広く周知を図った。

さらに、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑥ 大学等と企業、地域社会等の協力による地域課題の解決に向けた調査及び研究並びに人材育成

＜地域課題に係る産学共同研究委託事業＞

中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取り組み等（調査・研究・開発事業等）を支援した。

	研究事業	企業 (中心団体)	大学
基礎 コース *1	静岡・三保半島の観光地引網活性化事業 ー伝統文化と海洋科学の融合ー	(株) エピネス	東海大学海洋学部
	たたみいわし及びアカモクを用いた、 筋萎縮抑制作用を有する新商品の開発	(有) カネナカ商店	東海大学海洋学部
	家具用天然系接着剤の曲げ接着性能評価 とセルロースナノファイバーの添加による 高性能化検討	(合) すまうと	静岡県立農林環境 専門職大学生産環 境経営学部
	清水港内で海中作業を行う水中作業ロ ボットの作業精度を上げるためのオル ソ画像処理システムの開発	大日工業 (株)	龍谷大学先端理工 学部
	登呂遺跡の古代稲作で栽培した赤米に よる清酒製造と野生酵母清酒開発によ る日本酒ブランディングの基礎構築	萩錦酒造 (株)	静岡大学人文学部
	製茶時の廃棄茶葉を原料としたサウナ 用アロマ製品の開発	(株) リバティアー	静岡県立大学食品 栄養科学部
応用 コース *2	人工飼料による養蚕技術を核とした機 能性魚飼料の開発と循環型食料生産へ の展開	(株) 鈴生	静岡県立大学食品 栄養学部、東海大 学海洋学部
	1分で飲めるスマートドリンクティー バッグ型ティーモクテルの開発	(株) dozo	静岡県立大学薬学 部

*1 基礎コース（委託限度額100万円）では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。

*2 応用コース（委託限度額200万円）では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択した。

◆成果事例の内訳

- (1) 三保地引網プロジェクトHPにおけるデータベース閲覧サービス開始
(株) エピネス (R7年度：基礎コース)
- (2) サーマルカメラ搭載ドローンによる松枯れ調査サービス開始
昭和設計 (株) (R3年度：応用コース)

成果目標	結果
成果事例（実用化、補助金獲得数）2件以上	2件

⑦ 施設提供事業

中小企業の会議や研修をはじめ、大学等の講義、講演会等に施設の貸出しを行った。前年度は空調設備改修工事による2か月間の利用停止期間が生じ、利用率及び収入も減少したが、本年度は徐々に回復傾向が見られた。

今後は、新たな利用者の開拓を目指し、営業活動や宣伝広告等、利用促進に向けたPRの強化に努めていく。

【会議室の利用状況】

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳 (人)			利用コマ数 (総コマ数)	平均利用 率 (%)
			会議室 利用者数	相談者数	平均/日		
令和7年度	292	32,154	30,939	1,215	110.1	3,679 (10,185)	36.1

成果目標	結果
年間使用料収入 12,668 千円以上	13,124 千円

(4) 中小企業支援センター事業

静岡市から中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な課題に対して診断・助言を行うなどの各種事業を実施した。

① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者に対して、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を実施した。

企業のDX化が加速するなか、ECサイトやWEBマーケティングなどITに関する相談は、相変わらず増加傾向であった。

<B-nest 経営応援団による相談>

・窓口相談員の配置

中小企業診断士5名（経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等）
IT専門家6名（ECサイトやWEBマーケティングに関するさまざまな課題）

・開設時間

月曜日から金曜日 9時30分から12時30分（IT専門家）

13時から19時（中小企業診断士）

土曜日 10時から17時（IT専門家）

・相談件数 752件

成果目標	結果
新規創業者数・新商品開発件数・新分野進出件数 40件以上（経営計画目標）	新規創業者数 37件
	新商品開発数 7件
	新分野進出件数 5件
	計 49件

※都市型産業支援事業 <創業希望者に対する経営指導、ビジネスプランのブラッシュアップ等の実施>と共通の目標

② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な課題の解決に向けて、適切な診断・助言を行うため、当センターに登録された民間の専門家を事業者 31 社に対して派遣した。

そのうち、約半数の 15 社はホームページ構築や SNS 広告についてのアドバイスなど、IT に関する派遣であった。

また、AI を利用したホームページの作製という新しい取組も見受けられた。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン等
- ・実施回数 148 回／31 社
- ・登録アドバイザー（専門家） 127 名

成果目標	結果
IT 関係の専門家を新たに 2 人以上確保 (経営計画目標)	新規 IT 専門家登録者数 6 人 (R 7 年度新規登録者数合計 12 人)

③ 中小企業経営力強化事業

市内の企業団体に対し、地元資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化を加速（推進）するために、農商工連携の事業認定申請に向けた各種指導等を、他の支援機関と連携を図り、支援した。

< 中小企業経営力強化支援業務 >

支援先	支援内容
(有) 片平木材	地元野菜を活用した新商品開発及びマーケティングの研究
(株) 山梨商店	環境に考慮した循環型生産のほうじ茶の開発及び啓蒙
静岡仏壇卸商工業協同組合	屋久杉の廃材を利用した線香の開発
エス・エルフロンティア (株)	廃棄端材を活用したウイスキー熟成ボトルの開発

④ 中小企業等経営支援事業

創業者、中小企業者等に対し、経営力向上を目的としたセミナー、ワークショップ等を開催した。

マーケティングの発想から現場での集客に至るまで、バラエティに富んだ実践的な講座は受講者の満足度も高く、特に、リーンローンチパッド（*1）実践編は、前年度に引き続き参加する企業もあり、参加者が意欲的に取り組む姿勢が見られ、たいへん好評であった。

*1 新事業で、仮説検証を繰り返しながら効率的に事業を立ち上げる手法。
リーン（lean）＝「筋肉質」「無駄が無い」



セミナーに熱心に聞き入る聴講生たち



講座名	内 容	参加者数
中小企業等 経営支援講座 (6回)	(1)「地域を元気にする観光のブランドづくり」 講師：静岡県立大学教授 岩崎邦彦氏	75名
	(2)「ビジネス・起業を成功に導くための情報収集・活用手法 2025」 講師：日本能率協会総合研究所 菊池健司氏	47名
	(3)「1日 90 分の業務だけで売り上げを伸ばす 20 の方法」 講師：(有)いろは 竹内謙礼氏	35名
	(4)「生成AI 最前線&注目の活用例 20 選」 講師：(株)ラーニングライト 中村俊也氏	84名
	(5)「【2025年最新情報満載!】WEB集客力アップセミナー」 講師：(株)ラブアンドフリー 高橋真樹氏	44名
	(6)「地域企業の勝ち筋マーケティングを考える」 講師：(株)駿府楽市 石井靖幸氏	56名
特別編 (4回)	(1)「起業・新規事業のキモは、早く・安く・賢く失敗して探索することゼロから分かる「リーン・スタートアップ」と実践」	18名
	(2)「リーンローンチパッド実践編」(3回)	36名(延べ)

成果目標	結 果
講座受講者による満足度割合 90%以上	93%

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託し実施した。

- ・ 融資受付件数 907 件 (前年度 832 件)
- ・ 申請金額 4,846,396 千円 (前年度 4,268,435 千円)

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	22	52,270
短期経営改善資金	219	1,170,530
産業振興資金	644	3,541,596
創業支援資金	22	82,000
事業承継支援資金	0	0
静岡市制度融資 小計	907	4,846,396
セーフティネット保証	9	
合 計	916	4,846,396

セーフティネット保証の内訳

セーフティネット保証4号 (台風15号関連)	1件
セーフティネット保障5号	8件
計	9件

2 収益事業（ツインメッセ静岡）

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のMICEの拠点として地域活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

① 展示場及び会議室等の貸与

本年度は、コンサート、自動車展示販売会等、幅広い分野での利用があった。

さらに、前年度から注力しているホビー関連催事についても、ダーツ大会、カードゲーム大会等が多数開催された。

会議室は、企業の社員研修や商品説明会に加え、展示会開催時の控室としても活用されるなど、多様な用途で利用された。

展示場における収益事業の催事件数は123件と、前年度の120件から3件の増加となった。前年度とほぼ同水準となった。

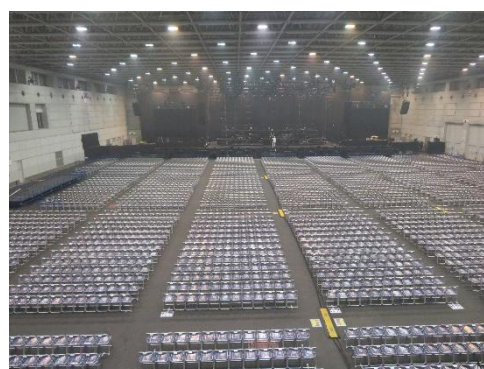
また、収入額から算出される収益事業比率は31.5%であった。

【主な展示場利用】

催事名	使用期間
PDC AsianTour2025	4/11～13
静岡伊藤忠ファミリーフェア	6/20～22、12/5～7、
輸入車アウトレットフェア	7/11～13、2/13～15
JT将棋日本シリーズ 静岡大会	8/8～9
静岡マツダ特設展示会 in ツインメッセ静岡	8/21～24、2/5～8
Steel Darts Japan Tour 2025	8/15～17、9/26～28
Flesh and Blood WorldTour Shizuoka	9/25～28
JET in 静岡、PERFECT 静岡大会	10/24～26、3/13～15
HondaCars 静岡「Honda カーフェスティバル 2025」	10/31～11/3
DARTS LIVE OPEN 2026 SHIZUOKA	2/13～15
久保田利伸 40th Anniversary Arena Tour	3/9～15



「Honda カーフェスティバル 2025」
ホンダの新車・中古車が多数展示された。



久保田利伸 40th Anniversary Arena Tour が
29年ぶりに開催され二日間で約9000人が来場した。

② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストラン、飲料水等の自動販売機、コインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1店	コインロッカー	31箱
飲料水自動販売機	21台	コインコピー機	1台



3 公益と収益に共通する事業

(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）

静岡市のMICE推進における中核施設としての役割を担い、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、新規展示会の誘致やテレビ局と連携したエンターテインメント催事の開催など、施設利用率の向上を目指し各種事業に取り組んだ。

<利用者満足度の向上>

地域唯一の産業支援センターとして、産業振興に長年携わってきた職員が、これまでの催事開催支援における経験とノウハウを活かし、的確なアドバイスを提供することで催事の円滑な実施と成功を支援した。

また、利用者との積極的なコミュニケーションを通じて信頼関係の構築に努めるとともに、「利用に関するアンケート」を実施し、利用者ニーズの把握に努めた。

これらを踏まえ、改善可能な事項から順次対応を行い、満足度の向上を図った。

成果目標	結果
南・北大展示場利用率 53%（経営計画目標）	50.1%

<行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>

大規模展示会及び各種催事の誘致を目的として、するが企画観光局及び静岡県文化財団と連携したほか、海洋関連展示会の主催者であるインフォーママーケットジャパンへの訪問及び展示会視察を継続的に実施し、情報交換を行った。

さらに、日本展示会協会が開催する会議及びセミナーに参加し、イベント主催会社との情報交換及び営業活動を行った。

また、県内のコンベンション施設間で大規模展示会及び催事の誘致に関する情報交換を実施した。

<地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化したアプローチ>

静岡市の模型・ホビー発信拠点の一つとしての優位性を活かし、静岡市が推進する静岡市プラモデル化計画と連動し、模型・ホビーと親和性の高い新たな分野へのアプローチを進めるとともに、ホビーの裾野拡大につながる催事の誘致に取り組んだ。

本年度は、ダーツ大会、カードゲーム大会、キルト展、テレビ局と連携したアニメ関連展示会等、幅広い分野におけるホビー関連催事が開催された。

成果目標	結果
誘致検討案件を3件以上確保（経営計画目標）	3件

<目的とターゲットを明確にした情報発信>

従来の情報発信に付加価値を加え、施設利用者や来場者に対してより魅力的な情報を提供するため、即時性・拡散性に優れたX（旧 Twitter）を継続的に活用した。

写真や動画による投稿を通じて公式アカウントの認知度向上を図るとともに、イベント情報や施設の魅力、交通・災害情報などの周辺地域の動向をリアルタイムで発信した。

また、SNSとイベントカレンダーを併用し、多角的な情報発信に努めた。

その結果、フォロワー数の増加と新たな層へのアプローチにつながり、施設の知名度向上および利用・来場の促進を図ることができた。

成果目標	結果
X（旧 Twitter）のインプレッション数 3,000,000 件以上 （経営計画目標）	3,130,482 件

※R7.12 目標値変更

（2）有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

- ・収容台数 立体 587 台・地下 175 台
- ・利用料金 1 時間毎 200 円
- ・駐車場利用台数

（ ）は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
98,801 台	1,685 台	100,486 台
(100,034 台)	(1,944 台)	(101,978 台)

(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

故障発生による施設、設備の機能停止に伴う安全性・利便性の低下を未然に防止し、施設を安定的に運営するため、予防保全的に実施してきている計画修繕は、緊急性の高い13件を実施した。（その他小破修繕は45件実施）

計 画 修 繕	
1	南館地下駐車場泡消火設備第2期修繕
2	南館大展示場予備室空調設備設置
3	西館2階トイレ排水管詰り解消更生修繕
4	西館・南館大展示場トイレベビーシート交換
5	西館第2小展示場搬入口扉修繕（シャッター設置）
6	中央棟4階会議室天井照明器具LED化
7	中央棟4階交流サロン授乳室設置
8	北館大展示場吸収冷温水機（1号機）分解整備
9	北館地下機械室2次冷温水ポンプ整備
10	北館・北館大展示場トイレベビーシート交換
11	立体駐車場1階スロープ壁改修
12	立体駐車場南部体育館側出口鉄骨上屋葺替え
13	昇降機修繕（エレベーター2～5号機、エスカレーター1～4号機）


2


4 10


5


6


7


11


12

4 組織・人材づくりへの取組

(1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図ることを目的に、当協会としての研修を実施し、人事評価制度の検討を行った。

成果目標	結果
研修受講 (経営計画目標)	新しい公益法人制度財務基準の講座や、商工会議所ビジネススクール主催のビジネス講座などを受講した。

(2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図ることを目的に、関連する規程等の見直しを行った。

成果目標	結果
整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行 (経営計画目標)	当協会が保有する情報資産を適切に保護するため基準を制定し情報資産管理の強化を図ったほか、本年度に育児・介護休業法の改正を受け、介護休暇の制定を行った。

5 理事会・評議員会

(1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
R7.6.2 (定 時)	<審議事項> (1) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算 の承認について (2) 定時評議員会の招集について <報告事項> (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について (2) 令和6年度資金運用状況について	可決 可決
R7.6.19 (決議の省略)	<審議事項> 公益財団法人静岡産業振興協会理事長及び副理事長の選任について	可決
R8.3.25 (定 時)	<審議事項> (1) 令和8年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (2) 令和8年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (3) 令和8年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (4) 基本財産の一部処分について <報告事項> (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について	可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
R7.5.7 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決
R7.6.19 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会事業の報告及び決算の承認について (2) 任期満了に伴う理事の選任について (3) 任期満了に伴う監事の選任について (4) 任期満了に伴う評議員の選任について	可決 可決 可決 可決
R8.3.3 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 基本財産の一部処分について	可決
R8.3.31 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について	可決

参考資料

◇展示場の利用状況

大展示場では、前年度と比較して利用件数は11件、利用日数も4日増加となった。

これにより利用率は、0.1ポイント増加し50.1%となった。

※利用率＝使用日数÷（365－休館日数）

小展示場では、前年度と比較して利用件数は40件、利用日数も78日増加となった。

この結果、利用率は5.2ポイント増加し、38.4%となった。

① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

()は前年度

	北館	南館	計
件数	61 (58)	93 (85)	154 (143)
日数	159 (164)	203 (194)	362 (358)
利用率 (%)	44.0 (45.7)	56.2 (54.0)	50.1 (50.0)

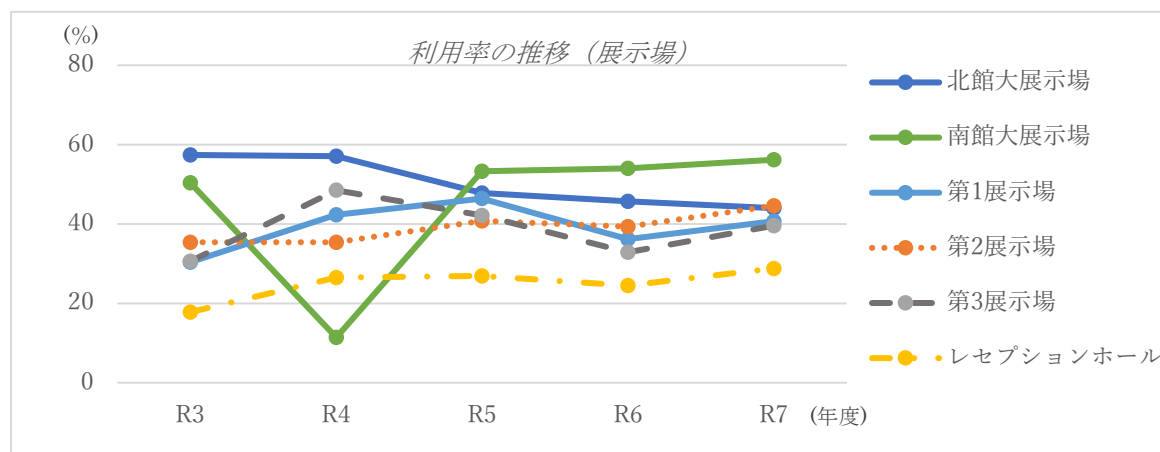
※休館日：12/30～1/2

<小展示場>

()は前年度

	第1	第2	第3	レセプションホール	計
件数	84 (71)	44 (34)	64 (50)	47 (44)	239 (199)
日数	147 (130)	161 (141)	143 (118)	104 (88)	555 (477)
利用率 (%)	40.7 (36.2)	44.6 (39.3)	39.6 (32.9)	28.8 (24.5)	38.4 (33.2)

※休館日：12/30～1/2

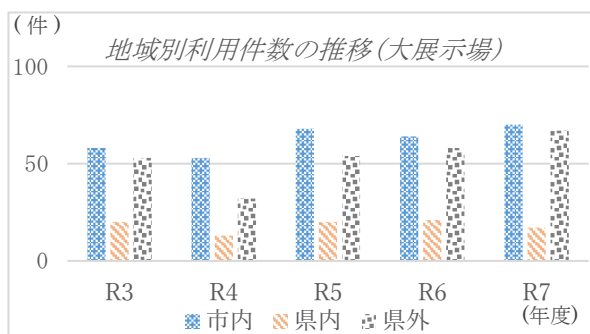


② 地域別利用状況

<大展示場>

()は前年度

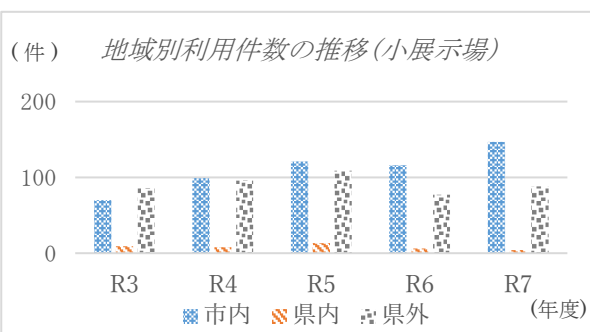
	市内	県内	県外	計
件数	70 (64)	17 (21)	67 (58)	154 (143)
割合 (%)	45.5 (44.8)	11.0 (14.7)	43.5 (40.5)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	市内	県内	県外	計
件数	147 (116)	4 (6)	88 (77)	239 (202)
割合 (%)	61.5 (58.3)	1.7 (3.0)	36.8 (38.7)	100 (100)

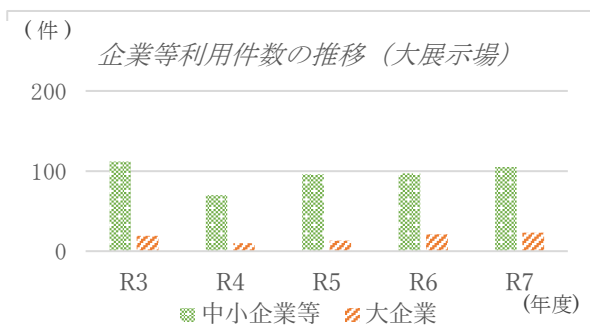


③ 企業等規模別利用状況

<大展示場>

()は前年度

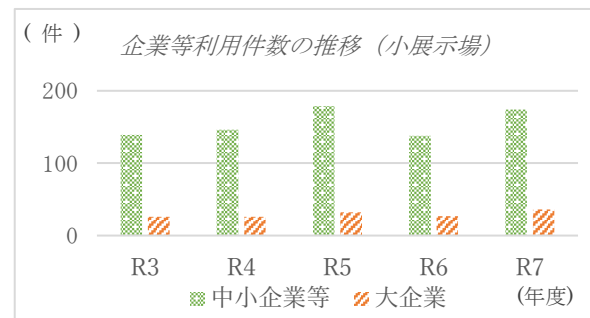
	中小企業等	大企業	計
件数	105 (97)	23 (21)	128 (118)
割合 (%)	82.0 (82.2)	18.0 (17.8)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	174 (138)	36 (27)	210 (165)
割合 (%)	82.9 (83.6)	17.1 (16.4)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場					合 計
	北館	南館	小計	第1	第2	第3	レセ プ	小計	
農林水産・食品等	5	7	12(8)	4	1	6	4	15(7)	27(15)
産業機械・精密機械	2	3	5(3)	5	2	6	4	17(10)	22(13)
建築・住宅・資材	4	12	16(16)	8	9	5	7	29(23)	45(39)
医療・福祉・美容	2	10	12(12)	20	5	4	1	30(33)	42(45)
家具・雛具・仏壇等	1	1	2(2)	3	3	8	4	18(12)	20(14)
交通・車両・運輸	5	1	6(10)	0	0	1	1	2(4)	8(14)
家 電	2	0	2(3)	3	0	0	0	3(2)	5(5)
システム・OA・ ソリューション	0	0	0(0)	0	0	4	0	4(2)	4(2)
情報・通信・映像	0	0	0(0)	2	1	0	0	3(1)	3(1)
物流・商社・店舗	5	3	8(17)	2	2	2	2	8(9)	16(26)
衣料・呉服・宝飾等	0	2	2(1)	7	3	3	2	15(16)	17(17)
スポーツ用品	1	0	1(1)	0	0	2	0	2(4)	3(5)
家庭雑貨・文具	0	0	0(0)	0	1	0	0	1(0)	1(0)
文化メディア・マスコミ	9	20	29(8)	6	8	4	3	21(18)	50(26)
趣味・娯楽・ペッ ト・プラモデル	14	17	31(31)	16	3	6	5	30(21)	61(52)
行 政	1	5	6(5)	1	1	1	0	3(7)	9(12)
学校・教育	5	4	9(17)	1	3	1	3	8(8)	17(25)
その他	5	8	13(9)	6	2	11	11	30(22)	43(31)
合 計	61	93	154(143)	84	44	64	47	239(199)	393(342)

※()は前年度

◇会議室の利用状況

会議室の利用のうち中央棟会議室では、会議室9室の利用日数の合計は1,451日であり、前年度1,389日に比べ62日増加した。また、利用率(*1)は1.7ポイント増加し、44.7%となった。

西館会議室は、静岡市スポーツ協会及び静岡技能協会の事務所使用により、引き続き年間を通して貸与した。

(*1) 利用率=使用日数÷(365-休館日数)

<中央棟>

()は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日数	190 (170)	184 (174)	186 (175)	145 (117)	151 (120)	125 (115)	151 (143)	207 (231)	112 (144)	1,451 (1,389)
利用率 (%)	52.6 (47.4)	51.0 (48.5)	51.5 (48.7)	40.2 (32.6)	41.8 (33.4)	34.6 (32.0)	41.8 (39.8)	57.3 (64.3)	31.0 (40.1)	44.7 (43.0)

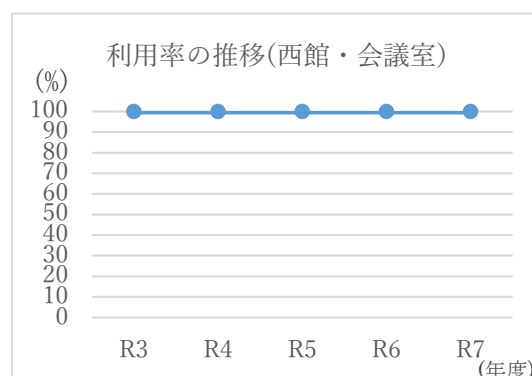
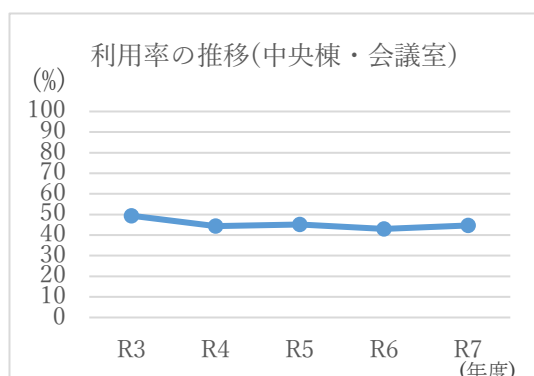
※休館日：12/30～1/2

<西館>

()は前年度

会議室	201	202	203	計
日数	361 (359)	361 (359)	361 (359)	1,083 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

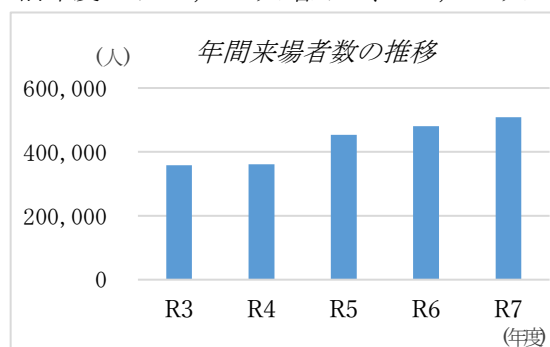
※休館日：12/30～1/2



◇年間来場者数

年間来場者数は、利用件数増加に伴い、前年度より28,287人増加し、508,470人となった。

・年間来場者数 ※()は前年度
508,470人 (480,183人)



◇ 組織構成

(1) 役員 [R8. 3. 31 現在] ()は前年度

理事	評議員	監事	計
10人 (10人)	8人 (8人)	2人 (2人)	20人 (20人)

(2) 事務局 [R8. 3. 31 現在] ()は前年度

職員数 30人(29人)

◆内訳：事務局長 1 (1) 課長 2 (2) 参事 2 (2)

センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 1 (1) 副主幹 4 (2) 主任 3 (4)

主事 6 (4) 嘱託 7 (8) 非常勤 3 (4)

